

令和7年度 第7回 神戸市文化財保存活用地域計画協議会 意見要旨

1. 日時 令和7年6月10日（火）14時00分～16時00分
2. 場所 神戸市役所1号館 19階大会議室
3. 出席者 （委員） 6名 （欠席 2名）
（オブザーバー） 兵庫県教育委員会文化財課 1名

【意見要旨】

2. 報告

（1）令和6年度事業進捗報告

・令和6年度措置

事務局：詳細な報告は割愛し、前回指摘のあった学校との連携について、八多学園の事例と、農村歌舞伎の小4向け副読本作成（山田小学校）について報告。

・重点事業：神戸歴史遺産

事務局：神戸歴史遺産・様々な連携による歴史的建造物の保存活用事業・史跡等の整備について報告。

（2）令和7年度事業予定

事務局：ネットモニターへ向けたアンケートの結果を報告。

委員意見

委員：令和6年度の歴史的建造物の保存活用15件。相談など何らかの関係をもったものや令和5年以降フォローアップになっているものも含めると30件。今年度は10件程度予定。今後も数を増やしたいが歴史的建造物の活用をしてくれる人が多く出てこないとしんどい。今までは物件ありきで、活用してくれる人をマッチングだったが、今年度は活用してくれる人からのアプローチを考えている。

委員：保存したい人と使いたい人をマッチング。その間で必要な修理をおこなえる。

委員：神戸歴史遺産の認定は進んでいるが、修理はうまく進んでいるのか？

事務局：従来の助成制度には所有者負担分があるため、それに対する助成と新たに認定した神戸歴史遺産に助成する制度がある。昨年度までは助成希望額を満額助成できている。

委員：五色塚古墳は整備後、観光にうって出ないといけませんがどうなっているか？

事務局：まだそこまで行けていない。観光には運用面を考えてから、話を持っていく。

委員：運用・観光について先取りしながら進めていけたらいい。

委員：五色塚古墳夜間ライトアップは幻想的で2,000人来客があったのはいい。

委員：フォトツーリズムを推進している。最優秀賞・優秀賞の1つに五色塚古墳を選んでいく。歴史的建造物とフォトは一つの切り口。ここにできる施設は学習施設と思うが、近隣・市外の校外学習へのPRをやっていききたい。

委員：写真展をやってほしい。

3. 協議事項

事務局：協議主旨説明。措置番号 76 に基づき、関連文化財群及び文化財保存活用地域を協議会で検討することを説明。

（１）海軍操練所・神戸港第一波止場跡の整備を契機とした神戸開港と神戸の近代化に関連する歴史的遺産の保存と活用

事務局：海軍操練所の発掘調査成果と意義。令和 6 年度の取り組み（現地説明板の設置。報告書の作成、ショートアニメの作成、上映会・調査成果報告会など）

令和 7 年度予定（ウォーターフロントグランドデザイン、埋蔵文化財センターでの発掘調査成果速報展の開催）、開発部局と保存活用の協議を報告。

委員意見

委員：諏訪山がスタート、結び付けてほしい。メリケンパークから行くときの道筋にある「みなと公園」にある石碑の一つに海軍操練所の簡単な歴史が書かれている。様々な石碑などがあるが検証した方がよい。活用していくのなら、しっかり対策を考えてほしい。

委員：史実をおさえてほしい。図書館などの資料も含めて市をあげて、史実をしっかり調べてほしい。諏訪山は関連文化財群としていく作業が必要。また近代化に関わる北野、居留地なども含めて。

委員：観光と密接にかかわりがある。遺跡は保存して本物を見せることができるかどうか検討中と思うが、現状、保存できているのは異例。うまく活用していったほしい。神戸市としてトータルで整備をしてほしい。ここでも声を上げていったほしい。

事務局：いろいろな活用方法を他局と検討していきたい。現実にはできるかは別として意見をいただきたい。

委員：ウォーターフロントエリアは教育旅行に適している。メリケンパークから広がる。神戸港の礎が見ることができるようになるのか？

事務局：実物が見えるようになるかどうかは不明。

委員：フェンスに説明板が貼ってあるだけでは…。本物の石垣が見えると、コースとして価値がある。

委員：兵庫津のイオンで兵庫城が出たが、見える形では残せなかった。現地を見た人は本物のすごさを感じることができる様に示す。みてもらえるように活用を。教育でいうと、開港 5 港のうち本物が見つかったのは今回初めて。日本と西洋を結ぶ懸け橋となった場所。教育旅行にも意義がある。よりよい形で残してほしい。整備委員会などが作られると思うが、見える形で使えるようにしてほしい。

（２）太山寺とその周辺をモデルとし、北区・西区を中心に市内に点在する中世からの寺社の保存と活用

事務局：令和 6 年度、次期総合基本計画策定に関する市民参加型ワークショップ、

西神中央ホールのワンコインコンサートでの太山寺写真紹介など紹介。

令和7年度は写真展や、前回、足がないという話からシェアサイクルの予定を報告。

委員意見

委員：小学生が参観とあるが、どの程度の時間をかけたのか。

事務局：コンサートは1時間だが、太山寺の学習ではなく、地域でやっているコンサートに参加したというだけ。

委員：コンサートに太山寺を挟み込んだというだけ？

事務局：そうです。観光施設の紹介の一環。大学との連携はあるが、小学校はない。

委員：小学校との連携を太山寺周辺でもできるとより良い。小さい頃から文化財に触れる機会を増やすのが大事。大学時も大事だが、地元の学校と繋げられるといい。

委員：学校の先生方は4年生中心に地域学習をしているが、近くのスーパーに行って終わりということもある。意外と情報をもっていない。小学校への働きかけ、情報提供が必要。

委員：勉強要素が強いがそうではない使い方、過ごし方があってもいいのでは。

事務局：写真展は地域の方でも知らない方がいるので、そういう方に向けてのPR。文化財というと敷居が高いため、写真展は文化財本体ではなく邪鬼など、文化財だけでない所も見てもらいたい。西図書館が近いので、関連絵本の展示も考えている。

委員：大学生が行事に関わっているというが、毎年同じ学生が関わっているのか？

事務局：西区役所との地域連携協定の一環で、令和6年度から流通科学大学の学生が練り供養に参加している。今後も関わってくれると思う。

委員：民俗行事としての調査は？

事務局：練り供養の調査はかなり昔に一度。

委員：民俗行事は時代とともに変容する。担い手・ボランティアが間口を広げる。史実がどうなっているか把握してもらって、取り組んでいる人と共有していく。

委員：寺との相談だが、岐阜県山県市東光寺の参拝者が27倍になった事例がある。ライトアップをしたうえで特別な写真がとれます、という取組。幻想的な写真がとれる権利を3日間だけ提供。拝観料をとり、改修費にあてる。ライトアップは全面ではなく、写真撮るところだけで、比較的安価にできる事例。

委員：写真には魅力がある。同じ写真を見たいと人が寄ってくる。フォトツーリズムを繋げるのはいい。

事務局：たくさん観光客が押し寄せるよりも静かに参拝できる環境を求めているご住職。

委員：文化環境保存区域になっている寺は周辺の杜を含めた環境を写真の素材として使わない手はない。オーバーツーリズムにならないように。

委員：2つのエリア突破口に、地域に住んでいる人が宝と思って自慢できるように。小さい頃から親しんでいけるといい。八多学園のような事例があちこちでできたらいい。神戸市は広いから、小学校の数も多くすべては難しいが。

オブザーバー：有意義な協議会。事務局から昨年度の進捗状況について、いろんな方面に向

けて取り組んでいる。海軍操練所が海側、太山寺は山側と双方を取り上げているのが魅力的。昔からあるものだが注目する。身近にある建造物・遺跡があると子どもの頃に見て知って、大人になった時に残っているといい。